人気投票１位の作品を市へ

12/16　あづみ野ガラス工房30周年記念展作品寄贈

あづみ野ガラス工房（豊科南穂高）のスタッフ・三好愛音（みよしあいね）さんの作品「イキ息生き物」が12月16日、市に寄贈され、市役所１階に展示されました。この作品は、９～10月に豊科近代美術館で行われた同工房30周年記念展で市役所に飾る作品の人気投票を行い１位となったもので、猫をモチーフに吹きガラスの技法で、硬いガラスに生き物の柔らかさを表現しています。三好さんは「見た人の感性で作品を楽しんでほしい」と話しました。

教員経験を南米で生かす

12/21　青年海外協力隊員が表敬訪問

国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊員として２年間、南米パラグアイに派遣される宮下智織（ちおり）さん（豊科田沢）が12月21日、市役所を訪ね村上副市長に出発前のあいさつをしました。

赴任先の同国第二の都市マジョルキン市内の小学校では、教員経験を生かして、同国でなじみがない課外授業などの研究支援にあたる予定です。隊員経験がある父の話が志望のきっかけと話す宮下さんは「父のように現地の人に喜ばれる活動をし、海外で学んだことを日本の子どもたちにも伝えたい」と抱負を語りました。

明科高校で映画のロケ風景を展示

12/17　明科高校・映画「orange-オレンジ-」ロケ風景展示

公開中の映画「orange-オレンジ-」（出演：土屋太鳳（つちやたお）・山崎賢人（やまざきけんと）ほか、配給：東宝）のロケ地のひとつになった明科高等学校（明科東川手）で12月17日、映画の公開に合わせ、ロケの写真やエキストラに配布された記念品などが校内に展示されました。当日は、企画した同校生徒会図書委員会の皆さんが図書館前に展示しました。

映画「orange-オレンジ-」は、松本市出身の漫画家高野苺（たかのいちご）さんの作品を原作にした高校が舞台の物語で、撮影はすべて県内で行われました。明科高等学校では、９～10月にかけて文化祭や体育祭のシーンなどが撮影され、同校生徒もエキストラとして参加しました。このほか、穂高や豊科の民家でもロケが行われました。

自らもエキストラで参加した図書委員長の西山葵（にしやまあおい）さん（２年）は「見やすくなるよう工夫しました。ロケの様子などを全校の皆さんに思い出してもらえたらうれしいです」と話しました。

安曇野の夜を彩（いろど）り10周年

12/17　Azumino.光のページェント2015

安曇野の里（豊科南穂高）一帯で行われている「Azumino. 光のページェント」（同実行委員会主催）のイルミネーションが10周年を迎えました。

平成17年に地元重柳区の若者などが１万５千球から始めた電飾は、現在、10倍の15万球に増え、冬の安曇野の風物詩になっています。

本年度は、12月５日から点灯が始まり、会場には、市制施行10周年を記念して白鳥や安曇野花火など安曇野の四季を表現したものや、記念植樹のモミに市内の小学生のメッセージを添えたアクリル板も飾り付けられました。

12月17日には、親子連れなどが次々と訪れ、色とりどりの光に、記念写真を撮る姿も見られました。

なお、同イルミネーションは１月31日まで点灯しています。

子どもたちの心と体を鍛え57年

12/11　堀金少年剣道クラブ・少年剣道教育奨励賞受賞

堀金少年剣道クラブが全日本剣道連盟「2015年度少年剣道教育奨励賞」を受賞し12月11日、指導者やクラブで学ぶ小中学生の皆さん16人が宮澤市長を表敬訪問しました。同クラブは、昭和33年に堀金中学校に指導者の高橋利夫さんが赴任したのを機に発足。保護者会の皆さんと協力しながら現在、堀金総合体育館を拠点に活動しています。今回、長年にわたり、剣道を通じ、子どもたちの体を鍛え、礼節の大切さなど、心身両面から指導してきたことが評価されました。指導者の藤原光弘（ふじわらみつひろ）さんは「武道が中学の必修科目にもなり、受賞を機にこれからも剣道の良さを伝えていきたい」と話しました。

新進音楽家　奏でる美しい音色

12/19　みらいから送るクリスマスの夕べ

「あづみの新進音楽家公開オーディション」で高い評価を得た若手音楽家によるジョイントコンサートが12月19日、穂高交流学習センター「みらい」で開催されました。プログラムは２部構成で行われ第２部には、市内穂高出身の植田さや香さんが出演。A・ピアソラの「リベルタンゴ」では、観客約150人の手拍子に合わせて演奏し、会場が一体となっていました。

出演した皆さん（敬称略）
ヴァイオリン　古川愛（松本市）
ピアノ　植田さや香（松本市）
ファゴット　白澤春奈（松川村）